

1 学年より

154名の新生を迎えた入学式から、3週間が経ちました。入学式直後、多くの生徒は緊張や不安の表情を浮かべていました。クラスでの日直の仕事や給食の準備、浅草中学校の特徴でもあるノーチャイムなど、新たな生活環境に戸惑うことも多かったようです。

先輩たちが行ってくれた委員会の説明や部活動紹介では、活気のある先輩たちのエネルギーに触れ、目を輝かせて自分の入りたい委員会や部活動を考えていました。仮入部期間の現在は、様々な部活動に参加し優しい先輩とともに活動できることがうれしく、とても楽しげな様子が伝わってきます。

部活動をはじめ、これからまだまだ中学校生活の醍醐味が待っています。

本年度が生徒たちにとって実りある3年間となるよう、教員一同努めてまいります。よろしくお願い致します。

2 学年より

2年生としての生活が始まりました。同時に、中学校で初めて先輩という立場にもなりました。そのことから2年生は「支える」立場としての役割が求められます。先輩として1年生を支えることはもちろんですが、学校を引っ張る3年生のサポートも期待されています。先日、「なりたい先輩・なりたくない先輩」について考えました。なりたい先輩には、「困っている人を助けてあげる先輩」や「勉強と部活動が両立できる先輩」があり、なりたくない先輩には、「自分勝手な先輩」や「すぐに不平不満を言う先輩」などがありました。それぞれが理想の先輩に近づけるよう応援しています。

2年生は、職業体験、霧ヶ峰移動教室、立志式、校外学習など、多くの行事があります。それぞれの行事で様々なことを経験し、大きく成長してもらいたいと思います。1年間、どうぞよろしくお願い致します。

3 学年より

遂に浅中の顔となる3年生がスタートしました。「先輩を見なさい」という言葉を今までに何回も言われてきましたが、いよいよ自分たちが見本になる番となりました。3年生という自覚からか、引き締まった顔つきで、最高学年としての意識の高さを感じます。今年は様々な行事に「最後の」という言葉が付きまします。この1年間で経験する中学校生活最後の物事を大切にしてほしいです。また大きな壁に直面することもあると思います。そんな時は3年間の学年目標の「強く優しく」を思い出し、仲間とともに乗り越えてほしいです。そして、笑顔で卒業の日を迎えられるよう、我々教員もサポートしていきます。保護者の皆様、今年もどうぞよろしくお願い致します。

A 組より

令和7年度は新生5名を迎えて3学年総勢12名となり、4年目のA組がスタートしました。新年度が始まって、2・3年生が1年生をしっかりとリードしている姿も見受けられ、落ち着いた学校生活を過ごしております。「新しい学級」でのスタート、出会いを大切にし、つながりを深めていけたらと思います。

今年度も少人数学級のよさを全面に出した「個に応じた指導」、達成感が得られる「生徒が輝ける活動」、共に学び共に高め合う「交流及び共同学習」を大切にして、日々の学習や学校行事、学級行事を行っていきたいと思います。一人一人が主体的に自らの能力を伸ばせるように、そして健康で豊かな人間性や社会性を伸ばせるように取り組んで参ります。1年間どうぞよろしくお願い致します。

夢を叶える浅草中学校

新年度が始まり3週間が経ちました。新生154名を迎え、全校生徒438名でのスタートです。これまでに朝礼や新生歓迎会、スポーツテスト・身体測定など全校での行事を行いました。その中での2、3年生の頼もしく立派な態度が1年生の素晴らしい見本となっています。

今年、1年間の個々の生徒、そして浅草中学校の成長がとても楽しみです。

さて、今年度も学校経営方針のスローガンを「夢を叶える浅草中学校」とし、重点目標を「生徒の自己肯定感を高める」といたしました。

これから生徒たちが生きていく社会は、今まで以上に予測困難な課題に直面するといわれています。したがって、生徒たち自らの力で課題を見つけ、他者と協働しながら課題を解決していかなければなりません。そのためには、多くの知識を蓄え、その中から課題や状況にあった解決策を選択し、実行する力が必要になります。自らが主体的に活動していくためには、個々が自信をもって物事に取り組んでいくことが大切です。その自信をもつためには、自己肯定感を高めることが必要になります。

生徒たちが、浅草中学校で学んだ多くのことや培ってきた自信をこれからの自分の夢を叶えるための第一歩なることを願っています。生徒ひとりひとりが夢の実現を目指すための環境づくりに努め、全力で頑張っているその姿を教職員一同応援いたします。保護者、地域の皆様におかれましては、今までと変わらず、本校の教育活動に御理解と御協力をお願いいたします。

校長室より
渡辺 英人

第35回入学式



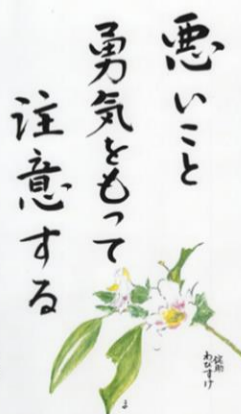
仁 義 礼 智 信

川面(かわも)に桜の「花筏(はないかだ)」が流れるのを見て、「新たな学校生活が始まった」と感じました。新生、新しい学校、新しい制服、新しい教科書、新たな先生や友達との出会い。人は、新しい事や場所に触れることで、気持ちを切り替えることができます。航海時代、新天地を目指した人々は、理想を持って、今のアメリカの基盤を築いていきました。

今が、気持ちを入れ替える良い時期です。希望をもち、友達の輪を広げ、決して自分一人では無く、人との関わり合いの中で、「智」を高め、「仁」を深めること。人は、一人では、生きていけません。周囲には、色々な人がいます。そういう人と接するときは、いつも「新たな気持ち」をもって接してみましょう。そうすることで、また、新たな発見が見いだせるかもしれません。



5月の浅中しぐさ



4/10 新入生歓迎会・部活動紹介



スクールソーシャルワーカー SSW にご相談ください

スクールソーシャルワーカー（SSW）は、生徒の皆さんや保護者の方から、学校や家庭での悩みや困りごとを聞き、福祉に関する専門的な知識・技術を活用して、保護者の方と一緒に解決方法を考える福祉の専門職です。

家庭や学校、地域の関係機関と協力、連携しながら、利用できる制度やサービスの情報提供、家庭訪問などをします。

ご相談の申し込みは、学校へお願いします。

